

佐世保市議会議員立候補予定者 各位

佐世保市議会議員選挙に伴う立候補者アンケートへのご協力をお願い

拝啓

貴方はまもなく施行される佐世保市議会議員選挙に立候補される予定と承っています。立候補予定者の皆さまには、是非この機会にお持ちのお考えを多くの市民に知っていただく絶好の場として、また有権者にとっては選挙における判断の資料として、市政についてのご見解をお伺いいたします。

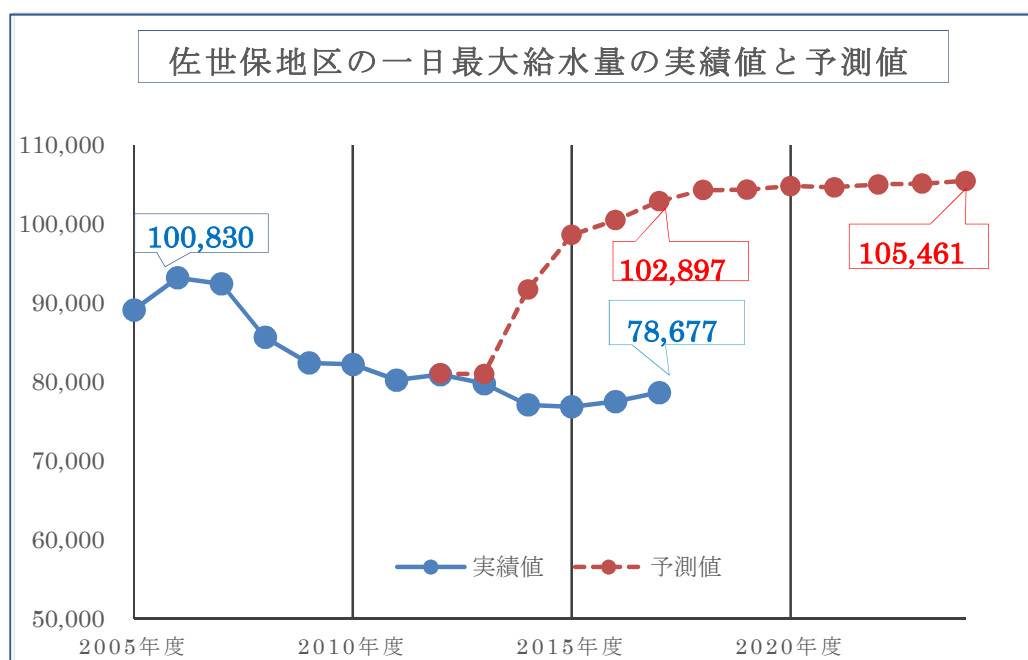
今回は、佐世保市の最重要施策として進められております石木ダム建設計画（利水事業）と水道行政等についてお伺いいたします。

なお、ご回答については、有権者の判断資料として、必要に応じて公表いたしますことをご了承願います。

敬具

(回答は該当する項目を○で囲んでください)

- 質問1 1972年の予備調査から今日までの石木ダム建設問題の経過と現状について
A よく知っている B 知っている C よく知らない D 知らない
- 質問2 2012年度に佐世保市は、石木ダム事業の再評価を実施しましたが、そこに示された水需要予測は、その後の実績値と大きく乖離しています。いまここで立ち止まり、建設の是非を問うことについて
A 立ち止まり議論が必要 B 不必要



質問3 石木ダム建設計画により水没予定地とされている川棚町岩屋郷川原（こうばる）に行ったことがありますか。

A ある

B ない

質問4 2017年度、佐世保市では年間353万m³（山の田ダム6個分）の水道水が漏れていました。佐世保市は漏水対策をしていますが、漏水はなかなか減らず漏水率は毎年11%を超えています。抜本的対策の必要性について

A 必要

B 必要ない（現状でいい）

質問5 ダムや水道管の老朽化が問題になっていますが、老朽化対策について具体的に考えをお持ちですか。

A 持っている

B 持っていない

質問6 人口減少時代に突入し、水需要の減少とそれに伴う料金収入の減少は避けられず、水道料金の値上げや民営化などが取り沙汰されています。安全安心な水道を持続させるための具体的な考えをお持ちですか。

A 持っている

B 持っていない

質問7 佐世保市は、水源確保のために石木ダムは必要だとして計画を推進してきました。そのための佐世保市民の負担は353億円ですが、これは2007年時点の予算です。その後の人件費や資材の高騰で完成までには相当の増額が予想され、水道事業会計を圧迫するのは必至です。それでも石木ダムは必要だと思われませんか。

A 思う

B 思わない

C わからない

質問8 水没予定地では既に一部の農地が強制収用されていますが、地元の方々には以前と変わりなくそこで米や野菜を作って暮らし、家屋を強制収用されても住み続けると断言しています。ダム建設を強行するには行政代執行しかありません。13家族の家や暮らしそのものを破壊しても、ダムのためなら仕方無いと思われませんか？

A 思う

B 思わない

C 迷っている

ご協力ありがとうございました。

ご回答は同封の返信用封筒で、恐れ入りますが4月10日（水）必着でお送り下さい。

発信団体

- ・水問題を考える市民の会 代表者 篠崎義彦
- ・石木川まもり隊 代表者 松本美智恵

連絡先：佐世保市潮見町1-30-1311 090-6171-5810

（私たちは、専門家の協力も頂いて石木ダム計画を研究し、当局への提言も行っている団体です）